

②各ステージのスタートアップ企業に向けた支援プログラムの実施

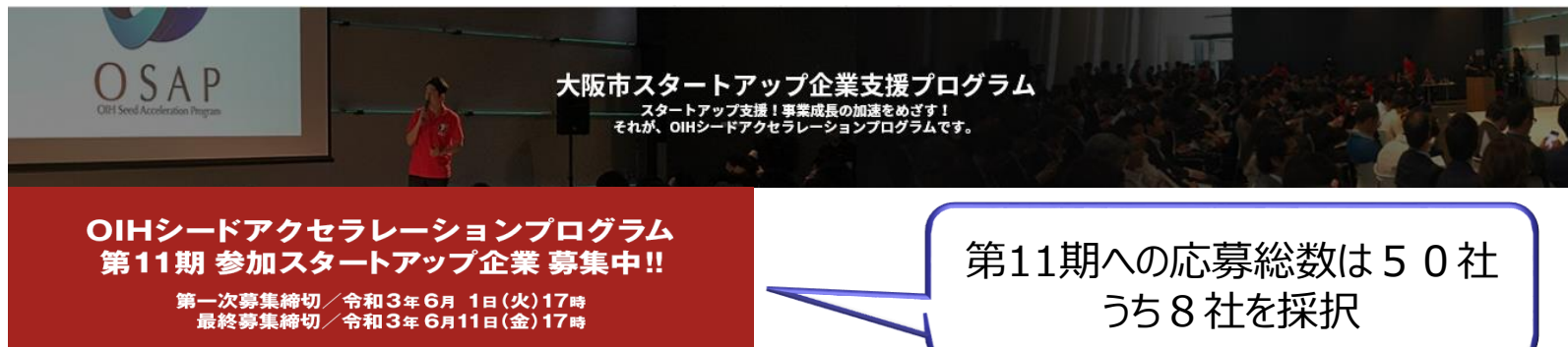
アクセラレーションプログラムの実施

OSAP、OSAP_Alumni海外展開支援プログラム（継続）



OIHアクセラレーションプログラム（OSAP） 【第11期／第12期プログラム】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として原則フルリモートで実施予定
- ・コロナ禍によって生じた新たな社会課題の解決に寄与するスタートアップ企業等を支援



第11期への応募総数は50社
うち8社を採択

OSAP_Alumni／海外展開支援プログラム

- ・渡航制限等の影響もあり、オンラインでの対応を検討中
- ・複数国におけるピッチ&ネットワーキングの機会を創出

海外アクセラレーションプログラム【内閣府】（新規）

- ・世界トップレベルのアクセラレータによる成長加速支援プログラム。
- ・複数の産業分野に対応したプログラム実施。

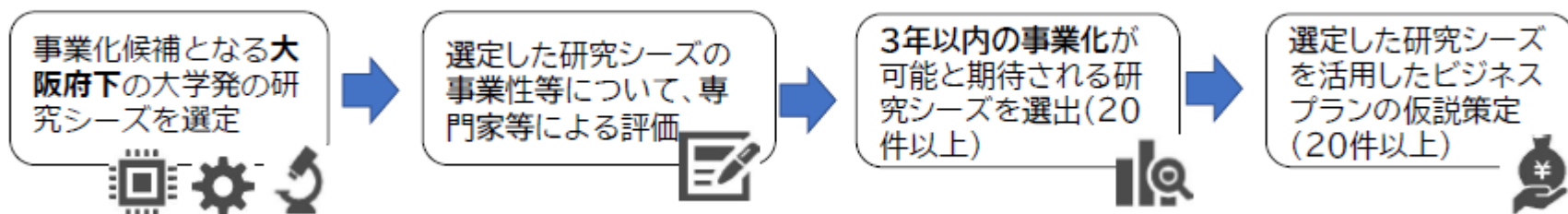
③産学連携の推進

大学発スタートアップ創出プロジェクト（新規）

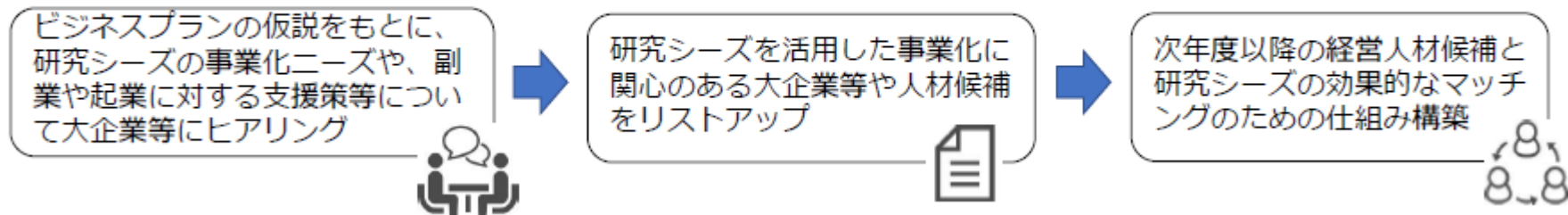
大学発研究シーズを活用したスタートアップ創出に向けて、新規事業創出やオープンイノベーション等に関心を持つ大企業等から経営人材候補を集め、大学の研究者や研究シーズと効果的なマッチングを行える仕組みを構築。

具体的な取組

①大学発研究シーズの選定・評価、ビジネスプランの仮説策定：20件以上



②経営人材候補と研究シーズのマッチングに向けた取り組み



③産学連携の推進

産学連携テックミーティング、大阪市イノベーション創出支援補助金（継続）

産学連携テックミーティング

- ・研究者が直接発表する機会を設け、企業との共同研究開発や特許の活用をめざす

7月29日

カーボンニュートラルに関する研究シーズ等を公開するテックミーティングを開催



大阪市イノベーション創出支援補助金

- ・産学連携の研究開発にかかる費用の一部を補助し。実用化に向けた取組を支援

第1回（2月募集）：6件採択 交付決定額 8,446千円

第2回（4月募集）：3件採択 交付決定額 3,641千円

グローバル拠点都市の取組み

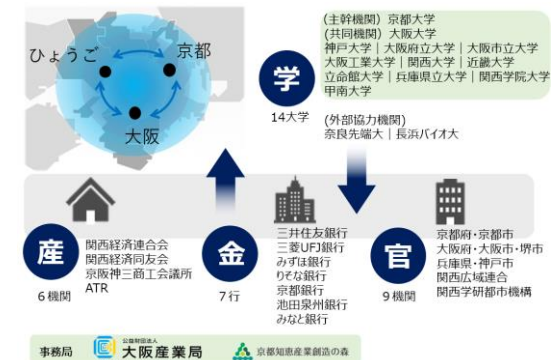
各省庁による拠点都市への支援メニューを最大限に活用し、起業や事業推進の環境を整備

①産学融合先導モデル拠点創出プログラム【経済産業省】R2～6年度

- ・ 関西地域の産学官金63機関がプラットフォーム「関西イノベーションイニシアティブ（KSII）」を創設。
参画大学によるネットワークを形成し、産学融合の研究開発・事業創出を加速化させる。
- ・ 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成、大学シーズと産業界の市場ニーズのマッチングによる事業創出、大学シーズを起点とした研究開発プロジェクトの推進に取り組む。

②SCORE（大学推進型 拠点都市環境整備型）【文部科学省】R3年度

- ・ 関西地域の産学官金38機関がプラットフォーム「京阪神スタートアップ・アカデミア・コアリション」を創設。
大学シーズの実用化や人材育成を強力に支援し、スタートアップが持続的に創出される環境の構築をめざす。
- ・ 起業活動支援（GAPファンド）、起業家教育の指導・支援人材の育成、起業環境の整備（共用試作機器等）、エコシステム形成が、活動の四本柱。



③海外アクセラレーションプログラム【内閣府】R3年度（再掲）

- ・ 世界トップレベルのアクセラレータによる成長加速支援プログラムの第2弾。今回は、複数の産業分野に対応したよりきめ細かなプログラムが検討されており、8月に参加スタートアップの募集が開始される。

スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み【参考】

概要

国は、シリコンバレーやニューヨークのように世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステムの拠点の形成と発展をめざし、スタートアップや支援者の一定の集積と潜在力を有する都市において、地方自治体、大学、民間組織等が策定するスタートアップ・エコシステム拠点形成プランを公募。拠点に選定された都市には、関係省庁等が一体となった集中支援を実施する。

大阪は、京都、ひょうご神戸と連携して「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」として申請し、グローバル拠点都市に選定された。

・グローバル拠点都市

東京・横浜等、名古屋・浜松、**京阪神**、福岡の 4カ所

・推進拠点都市

札幌、仙台、広島、北九州の 4カ所

大阪市の取組み

令和元年

- 7/19 大阪スタートアップ・エコシステム推進会議 設置
【構成員】 大阪産業局（事務局）、大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、近畿経済産業局
- 10/31 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム 設置
【構成員】 大阪産業局、大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、関西大学、近畿大学、池田泉州銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、りそなグループ、INPIT、NEDO、JETRO大阪、S-CUBE、オリックス不動産、阪急阪神不動産、ナレッジキャピタル、キーパーソン 6 名、近畿経済産業局（オブザーバー）
※構成員は設置当時（現在は45団体）

令和2年

- 2/18 京阪神が連携して内閣府に申請書を提出
- 7/14 京阪神がグローバル拠点都市に選定される
- 9月 経済産業省の公募事業「産学融合拠点創出事業」に、京阪神を中心とする近畿圏が採択される

令和3年

- 1月～3月 内閣府の海外アクセラレーションプログラムに大阪から5社参加
- 3月 文部科学省の公募事業「SCORE（拠点都市環境整備型）」に、京阪神が採択される
- 7月 内閣府のR3年度の海外アクセラレーションプログラムの募集にむけたプロモーションイベントを開催（参加スタートアップ募集は8月の予定）